



# 谷間の百合 7月

学校法人信栄学園 幼保連携型認定こども園 平幼稚園  
2021. 6. 29.

7月の聖句

「勇気を出しなさい。」

ルカによる福音書 16章 33節

園長 平澤 功

東京の目白にある私の出身の日本聖書神学校の礼拝堂で、月に2回程、結婚式の司式の務めをして10数年になります。結婚される二人に神様の前で誓約を求めます。「(あなたは)結婚することを神のみ旨と信じ、今からのち、幸いなときも災いに会うときも、豊かなときも貧しいときも、健やかなときも病むときも、たがいに愛し、敬い、仕えて、共に生涯を送ることを誓いますか」。キリスト教で結婚式をした方々は思い出すのではないかと思います。確かに幸いであり、豊かであり、健やかであることは誰でも願うことです。しかし、人生の中では時として、災いに会い、貧しさを覚え、健康を害することがあります。これを聖書ではどう考えるかです。「神様の鍛練」です。「神の鍛練を軽んじてはならない」との教えもあります。

子どもたちは、様々な試練を通して成長します。「神は、あなたがたを子として取り扱っておられます。いったい、父から鍛えられない子があるでしょうか」。同時に「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます」。そして「万事を益としてください」と教えています。試練を乗り越えたとき、子どもたちは神様と人に喜ばれる人に大きく成長することが約束されているのです。イエス様は「勇気を出しなさい」と励ましてくださっています。子どもたちは成長の旅を歩み始めています。冒険の旅を必要としています。巣立ちを傍らで温かく見守ってあげることも大人としての、親としての大切な務めだと思えます。

## 7月の行事予定

- 1日(木) 避難訓練
- 2日(金) 親子ふれあいデー(あい組)
- 6日(火) おやこ広場
- 7日(水) 英語で遊ぼう(あい組)
- 9日(金) 親子ふれあいデー(ひかり組)
- 12日(月) キリスト教保育
- 13日(火) 食育(あい組)  
おやこ広場
- 14日(水) 交通教室
- 16日(木) 誕生日祝会
- 19日(月) 第1学期終業式  
夏祭り
- 20日(水)・21日(木) 1号預かり保育
- 22日(木) 海の日(祝日)
- 23日(金) スポーツの日(祝日)
- 26日(月) ~30日(金) 1号預かり保育

わたしは愛されていると感じ 心満たされて今を生き 明日の希望を持つために  
2021年度  
年主題  
共に喜んで  
~すべての歩みの中~

### 年主題聖句

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ  
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜びのです。  
コリントの信徒への手紙 I 12章 26節

### <キリスト教保育・月主題 7月>

乳児クラス (0歳児)  
月主題 「きもちいい」

乳児クラス (1.2歳児)  
月主題 「やってみる」

幼児クラス (3.4.5歳児)  
月主題 「心ゆくまで」

早いもので、あっという間に一学期が終わろうとしています。

4月に入園・進級した子ども達も、この3ヶ月の日々の中で泣いたり、笑ったりしながら心と身体に栄養を蓄えてきたように感じます。

ここで一学期のトピックス(あくまでも私の中で...) ベスト3をご紹介します。

第3位! 5月の誕生会の出来事です。誕生会の時に誕生者にむけての恒例の質問コーナーがあります。「好きな食べ物は何ですか?」「大きくなったら何になりたいですか?」等々。Y君が「どんな夢を見たいですか?」と、ちょっと難しい質問があがりました。そこで、あい組のH君。「あらかまぼちゃんと会える夢を見たいです。」転園していった。かほちゃん元気かなあ?

第2位!! 乳児クラス(特にひつじ組)に入ると、おばあちゃんが来た!と思われるのか「だっこ だっこ」とせがまれます。だっこすると、たどたどしい言葉で「ニカイ」(※2階の意)と階段を指さして幼児クラスフロアに行くように指示されます(笑)。大きいクラスのお兄さん、お姉さんの存在、姿、活動に興味津々であると共に、憧れを抱き、かかわりを持とうとしているのですね。異年齢交流 万歳!

第1位!!! 6月20日に、コロナ感染拡大リバウンド防止期間が終了した事に伴い、少しずつ通常保育の流れに戻りつつあります。

早速6月25日の誕生会は、乳児・幼児とフロアごとに行いました。幼児クラスでは、みんなでパネルシアターを見て、おおいに笑い、おおいに楽しみました。

園長先生が、誕生者一人ひとりの頭の上に手を置いてお祈りをして下さり、心あたたまる誕生会でした。

コロナ問題以前は、当たり前のように行われていた事ひとつひとつに「感謝」です。

副園長 高萩恵美

